

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フジ住宅(株) 新社屋ビル 新築工事	階数	地上4F
建設地	大阪府岸和田市作才町一丁目4023	構造	S造
用途地域	法第22条区域、第三種高度地区	平均居住人員	205 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年6月22日
敷地面積	2,017 m ²	作成者	溝口 治示
建築面積	1,210 m ²	確認日	2017年6月27日
延床面積	3,965 m ²	確認者	滝本 良一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 82% (46 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外の: 82%
 ④上記+: 82%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 岸和田市の国道沿いに新設された、展示スペース付の事務所の計画である。地域社会との融合をテーマに、親しみやすく、人が集まりやすい施設を目指している。人にやさしく、地域環境、延いては地球環境にやさしくある為に電力の見える化システムの導入や、ライフサイクルアセスメントを意識している。	その他 特になし	
Q1 室内環境 空調ゾーニングがなされ、ゾーン別に冷暖選択が可能である。	Q2 サービス性能 最も低い階高で3.95mとしている。	Q3 室外環境 (敷地内) 排熱機器は風通しのよい屋上に設置し、温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー LED照明など高効率な設備機器でエネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水水栓、器具の採用で水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0037

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	フジ住宅(株) 新社屋ビル 新築工事				
		建設地	大阪府岸和田市作才町一丁目4023番、4025番、4028番				
		用途/区分	集会所 事務所				
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★★			B+		
	CO2削減	★★★★★			4		
	省エネ対策	★★★★★			3		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.7	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3	
				住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.1		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.7		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			2.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項		階高3.9m以上を確保し、ゆとりを確保している。					